

## 「第 10 回 炉物理部会」総会報告

第 10 回「炉物理部会」総会が、福井工業大学 1・2 号館で開催された「原子力学会 1998 年秋の大会」の第 1 日目（98/9/28）に開かれ、42 名の会員が出席した。当日の主な議事、報告を以下にまとめる。

### 1 運営委員会からの報告

成田部会長より今年度第 2 回炉物理部会運営委員会について報告された。（詳細は部会ホームページの報告参照）特に、炉物理研究委員会と原子炉システム専門部会の現状に関する説明がなされ、更に原研中川氏より補足説明がされた。

### 2 今年度会計中間報告

工藤委員より資料（巻末表）に基づき、会計中間報告が行われ、了承された。

### 3 部会企画セッションについて

小林委員より、春の学会での部会セッションとして、会員の成果を蓄積し、広く役立てることを目的とした「共用炉物理コードシステムの構築」をテーマにパネルディスカッションすることが提案された。これに対し、会員から産業界でのこのコードシステムの位置付けや許認可使用への期待などの意見が出され、パネリストを更に検討するというので、来年度の企画セッションテーマとして了承された。

### 4 炉物理夏期セミナーについて

#### （1）第 30 回夏期セミナー

川島委員より、第 30 回夏期セミナーが 65 名の参加を得て、終了した事が報告された。詳細については、部会ホームページや学会誌の報告記事を参照されたいとのことであった。

#### （2）第 31 回夏期セミナー

成田部会長より、来年のセミナーは東海大学に依頼し、了承を得たと報告された。東海大 阪元教授より、東海大学のセミナーハウス（山中湖畔または孺恋村）にて行う事を考えており、来春の学会までに主なテーマ、場所等を検討して決めたいとの報告があった。内容等についての希望などを出していただきたいとのこと。

### 5 学会委員会からの報告

#### （1）編集委員会から（原研 須崎編集委員）

炉物理分野での最近の欧文誌への投稿は順調であるが、和文誌での特集、トピックスが途切れがちである。折々のテーマを提案して欲しい。

本年は学会創立 40 周年に当たり、記念特集号の準備を進めている。30 周年以降の 10

年のレビューと将来への展望を掲載予定でありご協力をお願いする。会場から、「これからの学会誌は原子力をめぐる社会的問題も重視すべきであり、従来の技術論偏重の姿勢を改められたい」との編集委員会に対する意見が出された。

## (2) 企画委員会から(東芝 山本委員)

社会・環境部会新設へ。「学会全体が社会・環境問題に目をむけられるようにする」ことを目的にトップダウン的に新設を予定。次回99春の年会で関連研究発表セッション&企画セッションが設けられる。

学会創立40周年記念式典+原子力総合シンポジウム(基調テーマは地球環境とエネルギー戦略)を99/5/10・11、東大山上会館にて開催予定。

学会員増強ワーキンググループにより、現状の会員7000名から10000名(特定公益法人資格が獲得できる)へのキャンペーンとして以下の活動を行う。

- ・ 各機関への協力要請
- ・ 論文連名者中の非会員への入会要請(今学会から)

草の根勧誘活動をよろしく。

部会企画の海外講演者招聘支援制度の改訂。必要ならば毎回申請可となった。

学生企画セッション新設。今学会より実施されている。学生会員は積極的に参画されたい。

主に大学関係者に。科研費の積極的応募を希望する。平成4年まで存在した分科「エネルギー学」中の細目「原子力学」が平成5年に消滅、以降採択件数が減少している。学会等の努力により平成11年から細目「原子力学」が復活したが、科研費内の分科、細目設定は応募件数が大きく影響するので、件数を増やすようにしてほしい(応募が少ないとまた消滅する恐れがある)。

今後の学会開催予定地は、次の通り。

1999春： 広島大総合科学部

1999秋： 新潟工科大(柏崎)

2000春： 愛媛大

その他、学会の大会に関するプレスリリースについて検討している(今大会では企画委員長の独断で実施)、来春企画セッションはエントリー済みであること、等が報告された。

## 6 その他

### (1) 京大炉大学院実験について(京大 代谷氏)

KUCA維持費について

今年度は維持費2千万円がついた(ただし、これは今年限りの措置で、現在概算要求中である)。炉物理部会の支援に感謝する。KUCA原子炉実験について

今年度より実験週を従来の2週間より3週間に拡充し、京大エネルギー科学研究科の院生

が新たに加わった。受け入れは定員 48 名より 60 名に増加したが、最大 72 名の受入態勢で臨んでいる。今年度の参加学生数は 57 名（阪大 10、九大 9、北大・東北大・名大各 7、東工大 6、神商大 5、武工大 4、京大 2）であった。

#### （ 2 ） 会員からの要望

ホームページに討論の場をつくってほしい（例えば、先の部会企画セッションでの中性子寿命の議論など）との発言があった。ホームページ上に BBS の設置が可能かどうか、ホームページ担当委員に検討をお願いする事にした。